平成 28 年度　事業計画

公益社団法人日本スカッシュ協会

（1）スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施
主催：（公社）日本スカッシュ協会
主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等
日程：＜スカッシュデー＞平成 29 年 2 月 11 日
＜スカッシュウィーク＞平成 29 年 2 月 4 日～19 日（予定）
会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等
目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。
対象：一般の方、どなたでも。
参加予定人数：約 2,000 名
内容：スカッシュ体験会、試打会、ヒッティングパートナー、コーチング、レンタル無料デー、スカッシュ大会、3/4 ゲーム大会等

② 広報活動
イ）　広報機関誌＜ＳＱＵＡＳＨ＞の発行（年 2 回を予定）
Vol. 79　（夏の号）7 月発行予定
Vol. 80　（冬の号）平成 29 年 2 月発行予定
ロ）　協会ホームページのリニューアル及び運営
ハ）　体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び年間協賛の増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する
引き続きスカッシュの大会等におけるゴミの分別、マイカップ持参によるエコ活動及び環境ポスターの掲示を全国的に推進していく。

⑤ エアースカッシュを活用した全国キャラバンを実施
昨年より全国 12 か所以上で 1,000 名を超える参加者に体験して頂いたエアースカッシュイベントを引き続き継続して積極的に実施していく。

（2）スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの普及と競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動
目的：海外大会でメダルが取れる選手の育成強化と普及を目的とする。
対象：選手強化活動とコーチ養成の活動及び新たなジュニア選手の発掘育成を対象とする。
内容：
イ）ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の競技力向上と次世代選手の発掘育成強化。＜ジュニアスカウトセレクション＞の実施
ロ）協会ＨＰや全国地区支部、協会の大会等に於けるスカッシュ応援募金活動

② JSA 公認レベルＴ（普及トレーナー）及びレベル 1（コーチ）認定講習会と認定試験の開催・公認とワークショップの開催

主催：（公社）日本スカッシュ協会、団体会員及び地区都道府県支部
日程：年 1～3 回開催予定
会場：未定
目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得し、スカッシュの一層の技術向上を図る。
対象：レベルＴ—スカッシュの初心者レベルでのグループ作り等のサポートが出来る方
レベル 1—一般的なクラブプレイヤーをコーチングする指導者。
参加予定人数：各回 10 名前後を予定
内容：レベルＴ---基本知識と基本ショットの正しいストローク方法、レフリー・マーカーの基本知識等。
レベル 1---全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング（球出し）方法、マンツーマン＆グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカーの知識等

③ （公社）日本スカッシュ協会公認スカッシュコーチ/世界スカッシュ連盟認定レベル 1 リフレッシュ講習会の開催
主催：（公社）日本スカッシュ協会
日程：年 1～2 回開催予定
会場：未定（東日本及び西日本を予定）
目的：JSA レベル 1 を WSF（世界スカッシュ連盟）公認のレベル 1 に移行出来るようにする為、日本スカッシュ協会コーチ委員会が今後 2 年間の継続開催を予定しているプログラム。
対象：JSA 公認レベル 1 コーチで世界スカッシュ連盟の公認コーチを目指す者
参加予定人数：30 名前後を予定

④ＪＳＡ公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認＜2 級・3 級・4 級＞
主催：（公社）日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部
日程：全国にて年 10 回程度開催予定
会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設
目的：レフリー・マーカーの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。
対象：4 級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。
3 級—スカッシュの競技歴が 1 年以上と認められる者等。
2 級—スカッシュの競技歴が 3 年以上と認められる者等。
参加予定人数：各回 10～30 名前後を予定
内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカーのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールについて学び、筆記試験と実技（DVD）試験の点数により認定の合否が決められる。

⑤ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催
主催：（公社）日本スカッシュ協会
日程：＜ナショナルトレーニング＞月 1 回程度年間を通して実施予定
＜ＪＳＡ強化合宿＞平成 28 年 12 月と平成 29 年 3 月に実施予定
＜西日本ジュニア強化合宿＞10 月頃に実施予定

＜ジュニアキャンプ＞夏と冬に開催予定
会場：ヨコハマ SQ-CUBE、マスカット、等
目的：アジア選手権、東アジア選手権大会、世界選手権等においてメダルを獲得する事を目標に、技術力の向上とフィジカルの強化等を目的とする。
対象：ナショナルチームの選手、強化対象選手、ジュニア選手に一般の選手もプラスした幅広いプレイヤーを対象とした中から卓越した才能を発掘し育成強化を目指す。
参加予定人数：各回 6～20 名前後を予定
内容：フィジカルチェック、コンディションゲーム、フィジカルトレーニング、基本ショット及び戦術練習、ゲーム練習、等。

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会　※日程、会場等は予定

イ）第 27 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会
日程：6 月 4 日 5 日
会場：さいたまスカッシュスタジアムＳＱ-ＣＵＢＥ
目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。
対象：23 歳未満の男女
参加予定人数：約 100 名
内容：トーナメント制

ロ）第 30 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会
＜ワールドジュニアサーキット(WSF) ＞
＜アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)＞
日程：8 月 17 日～20 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。
対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手
参加予定人数：約 200 名
内容：トーナメント制

ハ）第 22 回マスターズカーニバル
日程：10 月 8 日 9 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。
又、5 年後の「2021 年関西ワールドマスターズゲームズ」を視野に入れ、現状のマスターズの勢いを衰えさせずに、2021 年に臨める体制を整える。
対象：男女オーバー30、40、50、60（初心者～ベテラン）
参加予定人数：約 150 名
内容：トーナメント及びリーグ制。トリオマッチ他。

ニ) 文部科学大臣杯争奪第 45 回全日本スカッシュ選手権大会
＜平成 28 年度スポーツ振興基金助成予定＞
日程：11 月 17 日～20 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。
対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ
参加予定人数：約 200 名
内容：トーナメント制

ホ) JOC ジュニアオリンピックカップ第 20 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会
日程：平成 29 年 3 月 26 日～29 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。
対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者
参加予定人数：約 150 名
内容：トーナメント制

② <u>海外大会日本代表派遣(予定)</u>

イ）第 18 回アジアスカッシュ団体選手権大会
日程：5 月 11 日～15 日
開催地：台湾
種目：団体戦

ロ）東アジアスカッシュ選手権
日程：7 月 1 日～3 日
開催地：マカオ
種目：男女団体戦

ハ）香港ジュニアオープン
日程：7 月 27 日～31 日
開催地：香港
種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ニ）世界ジュニアスカッシュ選手権大会
日程：8 月 6 日～11 日
開催地：ポーランド・ビエルスコビャワ
種目：男女個人戦

ホ）ペナンジュニアオープン

日程：8 月 22 日～27 日
開催地：マレーシア
種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ヘ）世界学生選手権
日程：9 月 5 日～11 日
開催地：マレーシア・クアラルンプール
種目：個人戦・団体戦

ト）第 23 回アジアジュニア個人選手権
日程：9 月 20 日～25 日
開催地：マレーシア
種目：男女アンダー19,17,15,13,11

チ）女子世界団体スカッシュ選手権大会
日程：11 月 28 日～12 月 3 日
開催地：フランス
種目：女子団体戦

リ）KL ジュニアオープン
日程：12 月初旬
開催地：マレーシア
種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ヌ）ブリティッシュジュニアオープン
日程：12 月～1 月
開催地：イギリス
種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ル）アジアジュニアスカッシュ団体選手権
日程：2017 年 2 月・3 月
開催地：香港
種目：男女団体戦

<u>海外派遣承認大会</u>（予定）

イ）シンガポールジュニアオープン
日程：未定
開催地：シンガポール

ロ）ＵＳジュニアオープン
日程：未定
開催地：アメリカ

ハ）スコティッシュジュニアオープン
日程：平成 29 年 1 月上旬

開催地：スコットランド

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：国際大会の開催により海外選手と対戦する機会を作り日本選手の技術の向上を図る。又、間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画： 2018 年東アジアスカッシュ選手権や 2021 年関西ワールドマスターズゲームズ等の国際大会の日本開催、そして 2020 年東京オリンピック入門プログラム（名称「スポーツ・ラボ」）実施の可能性に向けて日本中をあげて準備をする。

（4）その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2018 年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場でるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させる。

対象：男女ナショナルチーム

種目：男女シングル戦、団体戦

内容：選手強化の為の合宿を集中して行う。

② オリンピック競技大会でのスカッシュ実現の為の推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為、オリンピックの公開競技（スポーツ・ラボ）入り及び正式競技入りを積極的に推進していく。

内容：WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに 2020 年東京オリンピック組織委員会へ入門プログラム＜スポーツ・ラボ＞の実現及び 2024 年オリンピック正式競技りに向けての要望運動を展開する。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

＜平成 28 年スポーツ振興くじ助成申請＞

内容：（公財）日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為の啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置。競技会検査は 28 年 11 月の全日本スカッシュ選手権大会を、啓蒙活動（アウトリーチ）は全日本学生個人戦の会場にて実施予定

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

内容：＊個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図る。但し、平成 23 年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

＊世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図る。

＊公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図る。
平成 26 年度より、ジュニアランキングも施行している。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：国際委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

目的：引き続き学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化する。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：大変厳しい状況ではある事は承知の上で再度新国立競技へのスカッシュコート設置要望を続けている。又、今後建設予定の他施設へのスカッシュコート設置を積極的に働きかけをする。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の全国的普及振興に努力する。